

# MLT Advance 機能強化項目一覧

## ■ロギング環境の改良

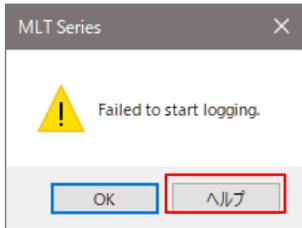
### • Navigator メニュー機能追加

Navigatorのメニューよりエラーコード表とマニュアルを参照いただけるようになりました。  
これにより、ロギング中やログ解析中に即確認いただくことが可能です。



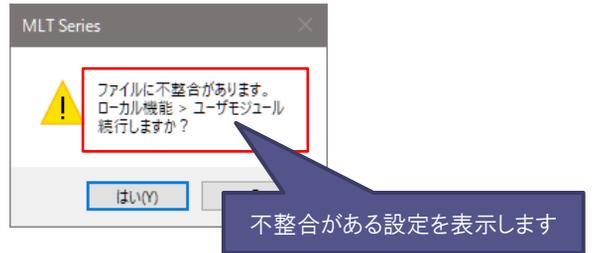
### • ロギング失敗時のヘルプ追加

Failed to start logging にヘルプボタンを追加しました。  
解決のためのヒントが表示されます。



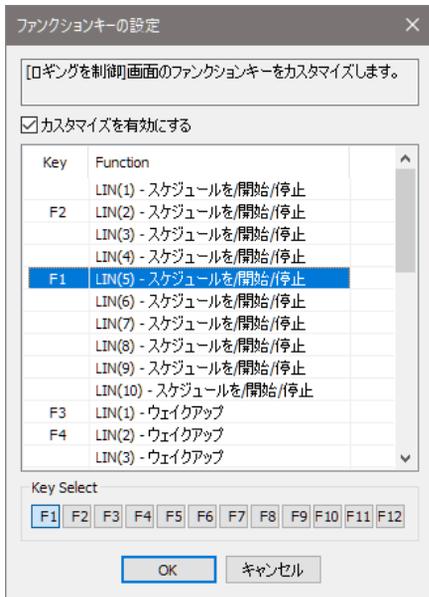
### • ファイル不整合の通知機能追加

各種定義ファイルの設定に不整合があるとき、注意を喚起するようになりました。



### • ファンクションキーの機能カスタマイズ可能

「ロギングを制御」で使用するファンクションキーの機能割り付けをカスタマイズできるようになりました。



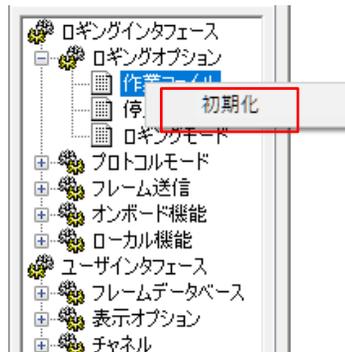
### • フィルタログチャンネル選択操作改良

フィルタ設定における対象チャンネルの設定操作を改良しダブルクリックで追加/削除できるようになりました。



### • 設定初期化機能搭載

設定ツリーの項目単位で設定を初期化できるようになりました。



## ■お問い合わせ

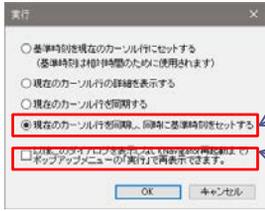
株式会社プリズム 〒446-0073 愛知県安城市篠目町1-11-15  
担当: 杉浦 久美子 sugiura@prism-arts.co.jp TEL: 0566-74-4441

※ 説明動画は順次HPへアップロード致します。 <https://www.prism-arts.co.jp/>

# MLT Advance 機能強化項目一覧

## ■ログ解析機能の向上

### ● 実行メニューの機能追加



基準時刻の設定とカーソル行の同期を同時に行うモードを追加しました。

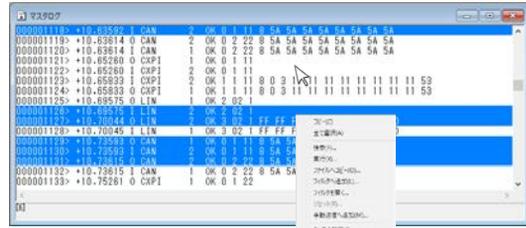
● 現在のカーソル行を同期し、同時に基準時刻をセットする

基準時刻の設定、詳細の表示、カーソル行の同期、基準時刻&同期を、ダイアログを表示しないで素早く実行できるようになりました。

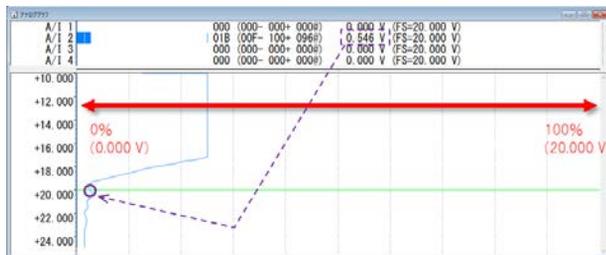
☑ 以後このダイアログを表示しない (Navigator再起動まで) ポップアップメニューの「実行」で再表示できます。

### ● ログ選択機能拡張

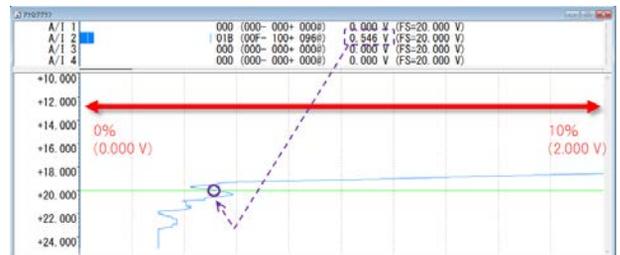
ビューのログをユニークに選択できるようになりました。  
対象の機器が、送信したフレームのみ や 送信したフレーム以外 などのフィルタ設定、プログラム送信ファイル作成がより簡単に実施いただけます。



### ● アナロググラフ 電圧軸(横軸)の表示倍率変更対応



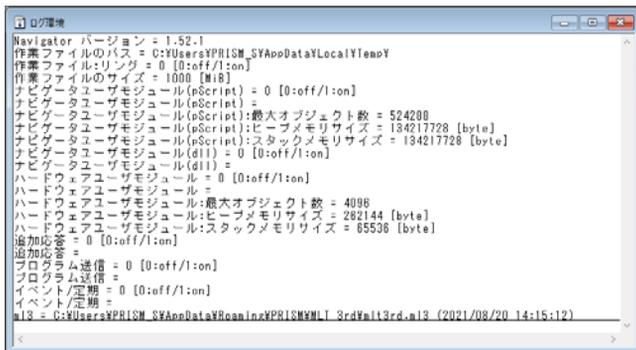
表示範囲:0%~100% (0 Vからフルスケール電圧までを表示)  
FS=20.000V 表示範囲が0%~100%の場合、0 V~20 Vの範囲を表示



表示範囲:0%~10%  
FS=20.000V 表示範囲が0%~10%の場合、0 V~2 Vの範囲を表示

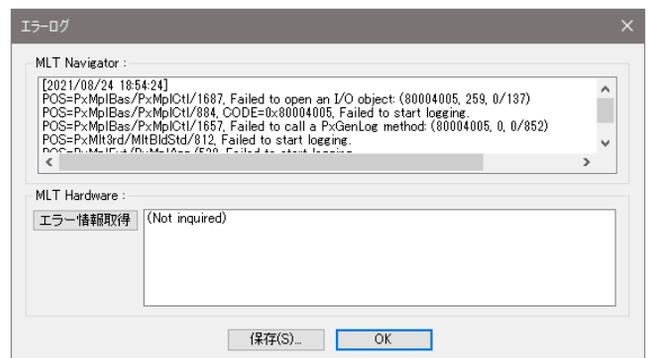
### ● ロギング環境情報 記録機能搭載

作業ファイル情報・ユーザーモジュール情報  
追加応答・プログラム送信・イベント定期設定 等の環境設定をログファイルへ保存できるようになりました。  
ログ取得後、確認いただけます。



### ● ハードウェアエラー情報 記録搭載

ロギング中に発生したハードウェアエラー情報を内蔵するメモリに保存するようにしました。  
この情報はヘルプメニューのエラーログから確認できます。



## ■お問い合わせ

株式会社プリズム 〒446-0073 愛知県安城市篠目町1-11-15  
担当:杉浦 久美子 sugiura@prism-arts.co.jp TEL:0566-74-4441  
※ 説明動画は順次HPへアップロード致します。 <https://www.prism-arts.co.jp/>

# MLT Advance 機能強化項目一覧

## ■I2C 機能拡張

### ① スレーブアドレスの7bit値設定対応

スレーブのアドレスを8bit値と7bit値で設定可能となりました。

### ② メモリイメージの模擬に対応

スレーブ機能を拡張、メモリデバイスの模擬が可能となりました。  
下記2タイプに対応しております。

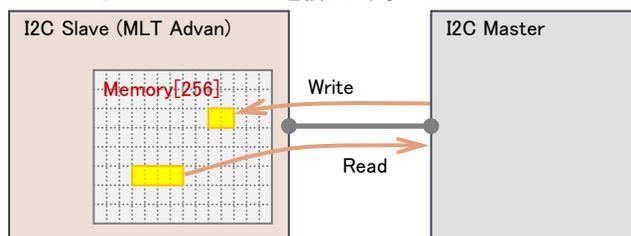
#### 【256バイトメモリ模擬】

1byteのindex指定でアクセスするタイプです。

メモリアドレスを1byteで指定するメモリデバイスに相当します。

マスタライト受信時は、アクセス位置の設定とメモリの更新を行います。

マスタリード受信時は、先行するマスタライトで設定されたアクセス位置のメモリデータをスレーブフレーム送信します。



#### 【256バイト×Nブロックメモリ模擬(N=2)】

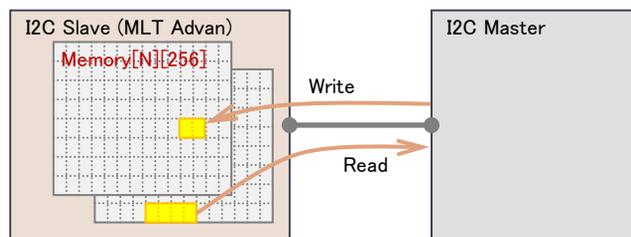
1byteのbank指定と1byteのindex指定でアクセスするタイプです。

メモリアドレスを2byteで指定するメモリデバイスに相当します。

メモリアドレス上位byteをbank、下位byteをindexで指定します。

マスタライト受信時は、アクセス位置の設定とメモリの更新を行います。

マスタリード受信時は、先行するマスタライトで設定されたアクセス位置のメモリデータをスレーブフレーム送信します。

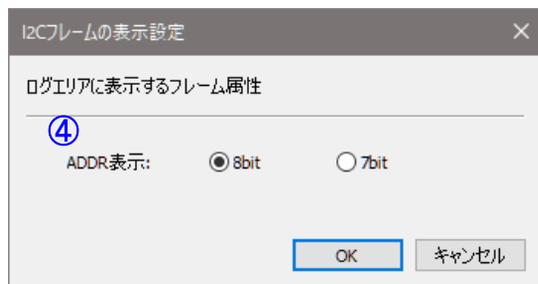
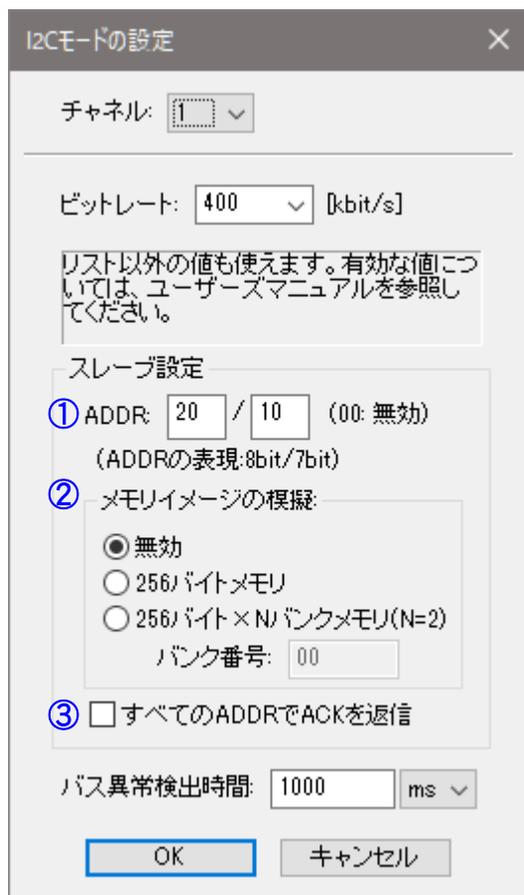


### ③ ACK返信機能

スレーブ設定ですべてのアドレスに対しACKを返信できる機能を追加しました。

### ④ フレームアドレス部の7bit表示対応

フレームのアドレス表示を8bit値と7bit値の表示切替が可能となりました。



## ■お問い合わせ

株式会社プリズム 〒446-0073 愛知県安城市篠目町1-11-15

担当: 杉浦 久美子 sugiura@prism-arts.co.jp TEL: 0566-74-4441

※ 説明動画は順次HPへアップロード致します。 <https://www.prism-arts.co.jp/>

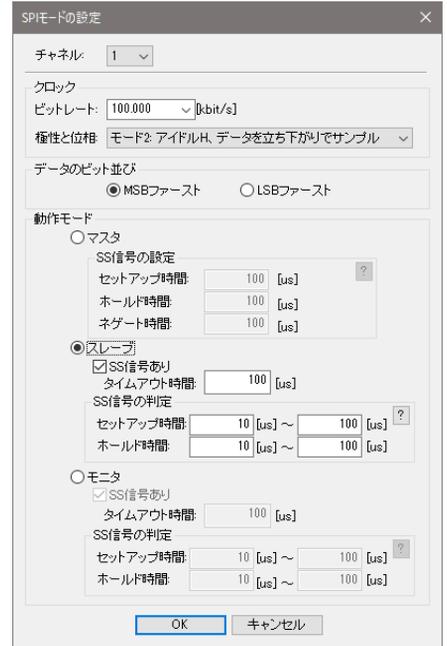
# MLT Advance 機能強化項目一覧

## ■SPI 機能拡張

### モニタ機能・スレープ機能拡張

SS信号のセットアップ時間とホールド時間の計測/判定機能を追加しました。

項目	意味	入力値域
セットアップ時間 (下限～上限)	計測したセットアップ時間を 正常と判定する時間の範囲	1 ~ 50000 [μs]
ホールド時間 (下限～上限)	計測したホールド時間を 正常と判定する時間の範囲	1 ~ 50000 [μs]



## ■CXPI機能拡張

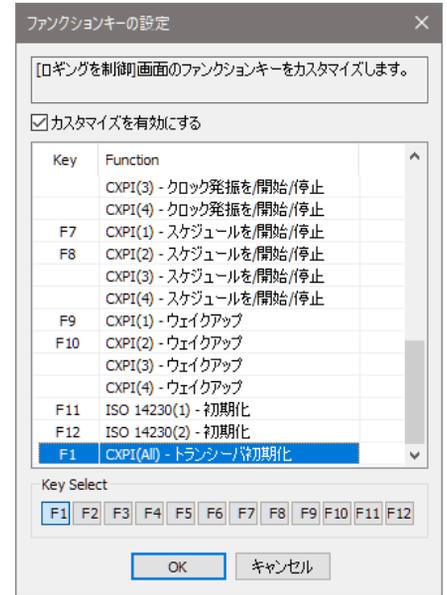
### 初期化機能追加

トランシーバの再初期化をロギング中に行えるようになりました。

これによりCXPIコンFORMANCEテスト物理層評価の波形確認に有効にお使いいただけます。

初期化は「ロギングを制御」で使用するファンクションキーに割り当てることが可能です。

ご使用方法、機能について詳しくはお問い合わせください。



## ■LIN機能拡張

### 通信速度設定の改善

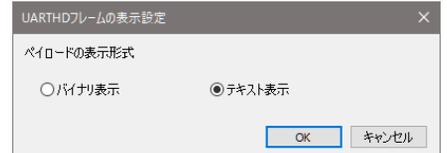
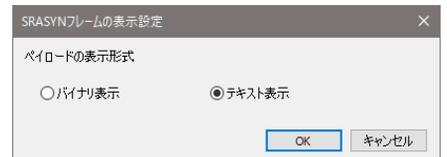
ビットレートの設定範囲の上限を 20000 bit/s から 65535 bit/s へ変更しました。

## ■SRASYN・UARTHD機能拡張

### プログラム送信ファイル書式の拡張

フレームデータの書式を従来のバイナリ形式に加え、テキスト形式で設定できるようになりました。

表示形式をテキストにした場合、テキスト形式のプログラム送信ファイルを作成することが可能です。



## ■お問い合わせ

株式会社プリズム 〒446-0073 愛知県安城市篠目町1-11-15

担当: 杉浦 久美子 sugiura@prism-arts.co.jp TEL: 0566-74-4441

※ 説明動画は順次HPへアップロード致します。 <https://www.prism-arts.co.jp/>